

## 獣医学教育を巡る状況

獣医学教育の国際化, 食の安全, 人獣共通感染症, 防疫需要の増大, 獣医療のニーズの多様化・高度化への対応

両大学の教育資源を統合し, スケールメリットを活かした  
獣医学教育の創設  
入学定員 65名/学年

伴侶動物から産業動物までの高度獣医療と食の安全に貢献する人材育成を目指す

「共同獣医学課程の設置」



# 岩手大学・東京農工大学 共同獣医学課程の設置構想(案)の概要

## 設置の背景と必要性

国際的水準を達成するための獣医学教育の必然性

- ・獣医学教育モデル・コア・カリキュラム(共通到達目標)の先駆的实践, 高度職業人育成のための獣医学教育の高度化

導入教育と実践的教育の必要性

- ・社会的役割や関連法規, 獣医倫理等の教育の充実
- ・インターンシップや施設見学の充実
- ・公衆衛生関連施設における実習機会の充実

## グローバル化する知的基盤社会の中での、国際的通用性を備えた質の高い教育の実施

共同獣医学課程を設置し, 両大学の有する教育資源の活用とスケールメリットを活かした教育体系の確立

岩手大学・東京農工大学による「共同獣医学課程」設置の理念

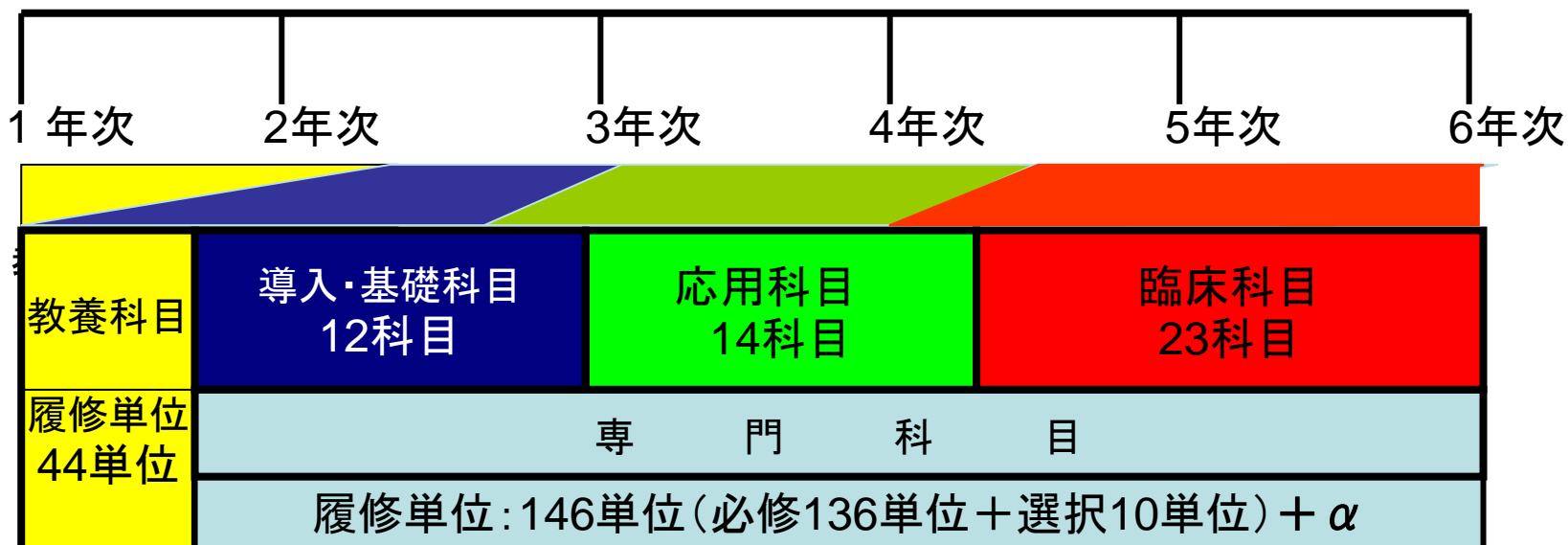
## 高度獣医療と食の安全に貢献する人材育成

- ①倫理性を兼ね備えた高い行動規範を持つ人材
- ②実践力と基礎的な知識・技能を持つ人材
- ③生命現象の解明と問題解決能力を持つ人材
- ④感染症と食の安全に貢献できる, 知識と技能を持つ人材

岩手大学の特色: 畜産基地に位置し, 「動物医学食品安全教育研究センター」を設置し, 動物性食品に関する学際的・横断的拠点形成, 地域密着型・問題解決型の研究推進

東京農工大学の特色: 首都圏に位置し, 伴侶動物の高度先端医療を実施・教育するための「動物医療センター」を設置し, 先進獣医療機器などを駆使した動物医療の実践と研究推進

## 共同獣医学教育課程履修計画



- 教 養 科 目：外国語科目群など6科目群から44単位を履修
- 専 門 科 目：遠隔講義システムによる双方向による教育，  
学生参加型による対面授業と実習
- コース制の導入：4年次後期から卒業後の進路希望を踏まえ，  
先端生命科学（基礎・応用），高度獣医療（臨床）の  
2コースを設置